

# 漁海況月報

平成 15 年 2 月 1 日

No. 2 ~2 月 28 日

静岡県水産試験場  
(電話 054-627-1815)  
静岡県水産試験場伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)

## 【黒潮流路】

前半 (2 月 4 日~2 月 10 日)、後半 (2 月 18 日~2 月 25 日) とともに、黒潮は九州東岸沖から足摺岬で大きく離岸し、室戸岬から潮岬では接岸して流れた。遠州灘沖では、前半に小蛇行が一つ通過したが、おおむね 33° N~33° 30' N を東よりに進み、三宅島付近を通過後、房総半島沖を接岸して流れた。

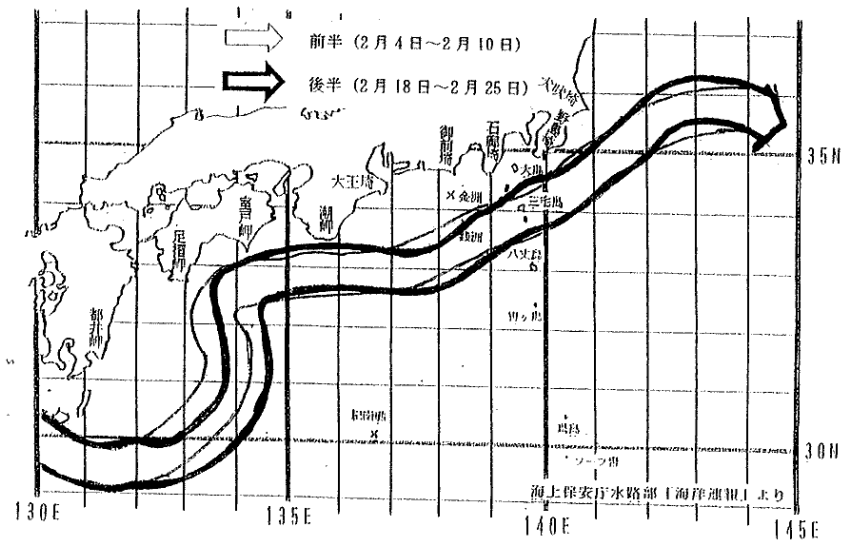
## 【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾側では 13~15℃ 台、駿河湾内では 11~16℃ 台で経過した。伊東が平年よりも低めであったが、他の場所は高めであった。

## 【竿釣近海カツオ】

2 月の県内主要 5 港 (沼津、清水、焼津、小川、御前崎) における近海カツオの水揚量は 1,338 トンで前年同期の 1.2 倍であった。魚価は 185 円/kg で、前年同期を下回った。

静岡県中型竿釣船の記録 (QRY) によれば、2 月の漁況はおおむね以下のとおり推移した。  
 上旬: 19° 00' ~23° 50' N, 134° 50' ~145° 40' E (表面水温 24~26.8℃) と広範囲に漁場が形成され、特大、大、特特大、小、中カツオを漁獲した。  
 中旬: 20° 40' ~25° 40' N, 137° 30' ~145° 00' E (表面水温 23.5~26.5℃) と広範囲に漁場が形成され、特大、特特大、大カツオを漁獲した。  
 下旬: 20° 40' ~23° 30' N, 135° 50' ~138° 40' E (表面水温 24~25.7℃) に漁場が形成され特大、特特大、大、中カツオを漁獲した。



竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要 5 港)

期 間	水揚量 (ト)	水揚 隻数	水揚/隻 (ト)	平均単価 (円/kg)
平成 15 年 2 月上旬	212	9	23.6	279
中旬	566	17	33.3	175
下旬	560	16	35.0	159
平成 15 年 2 月計	1,338	42	16.8	185
平成 14 年 2 月計	1,097	43	25.5	254
平成 13 年 2 月計	196	30	6.5	429

2003 年 2 月

定地水温の旬平均値 (℃) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	13.2	14.8	13.9	13.9	14.2	13.9	11.2
	-0.8	0.4	0.1	-0.5	0.2	0.3	-0.3
中旬	13.4	15.2	15.1	16.8	16.5	15.6	11.6
	-0.5	1.0	1.4	2.5	2.5	2.2	0.0
下旬	13.6	14.9	15.0	15.8	15.5	15.3	12.2
	-0.1	0.9	1.3	1.5	1.8	1.9	0.5
月平均	13.4	15.0	14.7	15.5	15.5	15.0	11.7
	-0.5	0.8	1.0	1.2	1.5	1.5	0.1

## 【定置網】

平成 15 年 2 月、伊豆半島東岸大型定置網 8 か統 (伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津) における水揚量は 364 トンであった。1 漁場当たり水揚量 45.5 トンは、前年 18.0 トンの 2.5 倍、平年値 (昭和 57~平成 14 年平均値) 20.3 トンの 2.2 倍であった。

魚種別にみると、①カタクチイワシ 303 トン (前年の 4.7 倍、平年の 11 倍) ②マアジ 14.7 トン (前年の 36%、平年の 89%) ③スルメイカ 12.7 トン (前年の 1.7 倍、平年の 1.1 倍) ④マンボウ 6.6 トン (前年の 2.5 倍) ⑤サンマ 5.7 トン (前年の 5.2 倍、平年の 1.1 倍) の順に多かった。

カタクチイワシ全漁獲量は本月の定置網全漁獲量の 8 割を占めるとともに、昭和 57 年以降でもっとも多かった。漁場別では北川でもっとも多く入網し、カタクチイワシ全漁獲量の 4 割を占めた。本種

の被鱗体長モードは11.5～13.0cmであった。マアジは川奈でもっとも多く入網し、マアジ全漁獲量の4割を占めた。本種の尾又長の中心は17～19cmであった。スルメイカは富戸でもっとも多く入網し、スルメイカ全漁獲量の3割を占めた。本種の外套背長モードは27cmであった。サンマは富戸を中心に入網し、肉体長の範囲は22.5～26.0cmであった。ブリは2月28日に銘柄ぶり177尾が入網し、その平均体重は7.8kg、尾又長モードは78cmであった。

漁場別水揚量は、カタクチイワシの漁獲が多かった北川(131トン)、富戸(71トン)、赤石(46トン)の順であった。

[サバたもすくい棒受網]

小川港にはマサバ5トン、ゴマサバ862トン、合計867トンの水揚があった。マサバは主に利島近海でたもすくいにより、ゴマサバは三宅島近海を中心に利島などで主に尾又長33～34cmの大きさものが漁獲された。1kg当たりの平均単価は、マサバ509円、ゴマサバ109円であった。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1隻当り (トン)	漁 場
平成15年 上旬	375	6	22	17.1	三宅、利島
2月 中旬	317	7	22	14.4	三宅、三本、利島
下旬	175	2	11	15.9	三宅
計	867	15	55	15.7	-----
平成14年2月	1,256	14	62	20.3	三宅、三本、銭洲
平成13年2月	837	12	52	16.1	三宅、三本、御蔵

[まき網]

静浦港では、前年と同様マイワシ・カタクチイワシ共に水揚げはなかった。

伊東港では、マイワシは2トンと、前年(0.2トン)の10倍だが低調であった。

小川港では、マイワシは37トンの水揚げで、前年(79トン)の47%、平年(過去5か年平均:97トン)の38%と極めて低調であった。

県内のまき網船によるマイワシの水揚量は依然低調に推移している。

[調査船の動向]

富 士 丸

1月14日～2月6日 ミクロネシア海域の漁場にて、カツオ調査(6日間)

駿 河 丸

2月3～5日 地先定点観測(駿河湾・遠州灘・伊豆)(3日間)

2月10日 御前崎沖マリンロボ1号機の調査(1日間)

2月13,14日 戸田沖～雨垂、大井川沖においてサクラエビ調査(2日間)

2月17,18日 駿河湾内において静大の深層水調査(2日間)

2月25日 駿河湾内において黒潮流入調査(1日間)

2月26,27日 石花海～金州においてサバ標識放流(2日間)

2月28日 トロールウインチ修理に伴う試運転(1日間)